



社団法人 日本化学工業協会

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目4番1号 住友不動産六甲ビル7階
TEL:03-3297-2555 FAX:03-3297-2615 URL:<http://www.nikkakyo.org/>



平成22年12月21日
(社)日本化学工業協会

GPS/JIPSによる化学産業界の自主的化学品管理の取り組みを開始

(社)日本化学工業協会(会長:藤吉 建二・三井化学株式会社会長 以下、日化協)は、化学品管理強化のための新たな化学産業界としての自主的取り組み「J I P S = Japan Initiative of Product Stewardship、(ジャパン イニシアティブ オブ プロダクト スチュワードシップ)」を開始致しました。J I P Sは、各企業がサプライチェーン全体を通して化学品のリスクを最小限にするために、自社の化学品を対象にリスク評価を行い、リスクに基づいた適正な管理を行うとともに、その安全性情報を顧客を含めた社会一般に公開する自主的取り組みです。

これを具体的に推進するため、このほどリスク評価手法及びリスク管理に係るJ I P Sガイダンスを作成し、日化協ウェブサイトで公開しました。同時に、企業数社によりJ I P Sを試行的に先行実施するべく、準備を進めているところです。来年度には本格的な取り組みを開始します。

【取り組みの趣旨】

2002年の持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)において、化学品管理の中長期目標として「2020年までに化学品の製造と使用による人の健康や環境への悪影響の最小化を目指すこと」が国際的に合意されました。

世界の化学産業界の団体である国際化学工業協会協議会(ICCA)は、従来より、化学産業界が社会の重要な一員として環境の保護、安全・健康の確保を行い、社会からの信頼の向上に努めるための取り組み(レスポンシブル・ケア活動。RC活動)を鋭意進めてきています。レスポンシブル・ケア活動のうち、顧客に販売した製品について、その製品を使用する顧客、最終的には消費者、さらにその製品の廃棄に至るまで、すべての過程での安全管理に取り組むプロダクトスチュワードシップ(PS)が一つの重要な活動として含まれています。これに基づきICCAは、WSSD2020年目標を達成し、PS活動を強化する観点から、グローバル・プロダクト戦略(GPS: Global Product Strategy)を策定し、化学品管理を推進しています。

日化協では、従来より、レスポンシブル・ケア活動の一環として、製品安全データシート(MSDS)の提供や、官民連携の既存化学品の安全性情報収集・発信プログラム(Japan チャレンジプログラム)の実施等により化学品の安全性情報収集、公開を積極的に推進してきました。一方で世界的な化学品管理強化の動きを受け、2009年5月にJ I P S推進を決定し、J I P Sの本格的実施の準備を進めてきたものです。J I P SはICCAが進めるPS及びGPSの日本における具体化です。すなわちJ I P Sは、化学産業界が社会の信頼を得るために各企業が自主的に行う、一般社会に向けた化学品の安全に関する情報公開の取り組みです。

【J I P Sの推進組織】

日化協化学品管理委員会およびレスポンシブル・ケア委員会共同で新たにGPS/J I P S推進部会を設立し、関連する四つのワーキンググループ(WG: 情報公開WG、評価技術WG、普及推進WG、進捗管理WG)を形成して企業のJ I P S活動を支援・推進します。

【J I P Sガイドランスの概要】

J I P Sガイドランスは、化学品の管理に関する「JIPS プロダクトスチュワードシップ ガイドランス」と、化学品のリスク評価に関する「JIPS リスクアセスメント ガイドランス」から構成されており、これら二つのガイドランスは、J I P S活動を進めるための車の両輪となるガイドランスです。

【結果の公表】

I C C Aは、各社のG P S活動で得られる化学品の安全に関する情報を、ウェブサイトで広く一般に公開するポータルサイトを公開しました。(www.icca-chem.org/global-product-strategy) 日化協でもI C C Aに連携してポータルサイトを構築し、J I P Sの情報公開と活動支援を進める予定です。

【推進スケジュール】

2010年度はJ I P Sガイドランスの作成や情報公開ツールの整備等、J I P S活動を支援する準備を進めながら、企業数社によるJ I P S先行実施に取り組みます。2011年度は日化協会員を中心に、J I P Sの本格的な取り組みを段階的に進め、その結果をもとに2012年度以降のスケジュールを各社で作成していただく予定です。

以上

※ご参考

G P S (Global Product Strategy : グローバル・プロダクト戦略)

1. プロダクトスチュワードシップ (P S) プログラムの国際的ガイドラインの作成
2. P Sのための管理システムアプローチの開発とP Sの実行
3. リスク特性評価およびリスク管理の実行
4. 下流ユーザー業界とリスク評価・管理に関する共同計画を策定、実行
5. 国際政府間組織 (U N E P、W H O、O E C Dなど) との連携構築
6. 公共へのP S情報提供のためのプロセス開発
7. 科学的調査の実施、L R Iの推進
8. G P Sの各ステップと成果を内外に周知するプロセスの開発
9. 各国政府や政府間組織の化学物質管理施策を適正化するため、グローバル・アドボカシーの基本原則を開発

本リリースに関するお問い合わせ先：

社団法人 日本化学工業協会 広報部 井上/小林 TEL.03-3297-2555